

安保法制強行から6年

戦争の訓練が行われています オスプレイ ノー 日米共同訓練 ノー

2015年、自衛隊が米軍とともに戦争に参加することを可能にする安保法制が強行されて以来6年。この間、日米共同訓練は拡大・強化されています。12/4から12/17までレゾリュート・ドラゴンと名付けられた

実動合同訓練が実施されています。米海兵隊から2700名、自衛隊から1400名が参加する大掛かりな戦争訓練です。危険な欠陥機オスプレイが過去最大の12機投入され、霞目駐屯地と王城寺原演習場の間を飛行訓練しています。戦争訓練がどんどん現実化しています。

仙合の上空を
飛び交うオスプレイ

過去最高、21年度軍事費6兆円超

政府が臨時国会に提出する2021年度補正予算案で、防衛費は7783億円と過去最大となりました。この補正と、当初予算と合わせた21年度防衛費の総額は6兆1100億円を超えています。これは、過去最大、国内総生産（GDP）比約1.09%に当たり、歴代内閣が目安としてきた1%を超えるものです。

防衛費の急拡大は日本に軍事大国化の意思ありとの誤解を周辺国に与え、近隣諸国との軍拡競争を加速する「安全保障のジレンマ」に陥りかねません。

防衛費増額の背景に、同盟国に軍事費をGDP比2%以上に増額するよう求める米国への配慮があるとも言われています。厳しい財政状況の下、国民の命と暮らしを守る予算に振り向けるべきです。

岸田首相所信表明

敵基地攻撃能力保有を言明

敵基地攻撃能力とは、相手がミサイルを発射する前に、そのミサイル基地などを攻撃する能力を意味します。つまり先制攻撃です。自衛隊は「攻められた際の最低限度の実力」としてきたこれまでの「専守防衛」の方針から大きな転換です。これはもちろん、「戦争放棄」を定めた憲法9条に反します。このため、自公政権とそれを補完する維新の会などは、憲法そのものを変えようとする動きを強めています。

私たちは日本が戦争への道に突き進むことを拒否するため、安保法制の廃止をめざして活動しています。

- ・野党共闘で安保法制を廃止するオールみやぎの会 022-393-6223
- ・宮城県内九条の会連絡会 022-728-8812・戦争政策反対宮城県民連絡会 022-234-1335
- ・県民運動連絡会みやぎ 080-8206-3511
- ・安倍改憲 NO! 憲法を生かす全国緊急署名推進センターみやぎ 080--8206-3511

2021.12.19